



ロータリーは機会の扉を開く

THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

# Weekly Report

## 名古屋みなと

2020~2021

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30

例会場 名古屋マリオットアソシアホテル

事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023

E-Mail office@portnagoya-rc.com

URL http://www.portnagoya-rc.com

会長 高田 和裕 幹事 村田 誠一

広報・雑誌・会報委員長 久留宮 秀郎

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES. ロータリーは機会の扉を開く R. I. 会長 ホルガー・クナー



### 臨時増刊号 7号

2021年(令和3年)5月21日(金)

### 会長挨拶

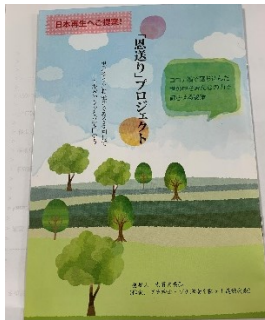


2020年連休明けの例会。芹澤年度、コロナ禍のど真ん中でした。例会が再開できたのは6月5日でした。今年も、新種のコロナが忍びよって、3度目の緊急事態宣言が発令されています。今日は悔しいけど例会中止です。まず、お知らせです。5月号ロータリーの友「卓話の泉」に10月2日

の卓話者、久留宮広報委員長の紹介の一般社団法人日本快眠協会代表理事 今枝昌子さんの卓話が記事になっています。まだ、読まれてない方は是非読んでください。私達の例会の卓話が記事になっているのが嬉しく思いました。本日のスピーカーは地区危機管理委員長 寺本善雄君に「ロータリーの危機管理」として卓話いただく予定でした。例会休会のためウイークリー臨時7号に寺本委員長に投稿いただきました。危機といっても、いろんな危機があります。今、ロータリーの危機管理とは、どんな事がウイークリーの寺本委員長の投稿を読んで、メンバー皆の知識の一つにしてください。さて、本日は名古屋の作家 志賀内泰弘先生の「恩送り」プロジェクトの中よりお話を投稿させていただきます。

### 客家（はっか）の法則

中国南部の福建省に客家という少数民族がいます。彼等は特殊な建築様式の家に住んでいます。イタリアのコロッセオのように、円形の外周部分が三、四階建てになっていて、各階に何軒もの家族が住んでいます。ちょうど中庭が見下ろせる高層筒型アパートとい



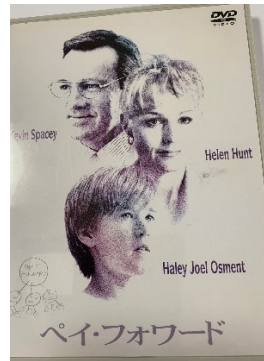
といったイメージです。この村には、こんな教えがあります。「右隣の人に親切にしてもらったら、反対の左隣の家に人に親切をしなさい。」

円型ドームのアパートみたいな住まいなので、次々に親切を回していけば、いつの日か回り回って自分に還ってくるという。そんな、お話しです。これを、読んである映画を思い出しました。

それは、「ペイ・フォワード」です。

主人公は、11歳の少年トレーバー。彼は、社会課の授業で担任のシモネット先生から問いかけられます。

「もし、君たちが世界を変えたいと思ったら何をやる。」と。そこで、トレーバーはあるアイデアを思いつきます。それは、「ペイフォワード」他人から受けた厚意をその人に返すのでなく、まわりにいる別の人に贈っていく・・・というアイデアだった。トレーバーの考えたアイデアは広がり、心に傷を負った大人たちの心を癒していく。その中の、トレーバーの言葉。



**「今の生活が苦しくても  
慣れすぎて変わらない。  
あきらめた人は負けなんだ。  
本当は世界は僕が思っていた  
よりクソでない。」**

善意を次へ渡す運動。人が、悲しくて・優しくて・勇気をもらう感動作です。ラスベガスで起こる素晴らしい物語です。

「客家の法則」につながるものを感じました。では、また来週。例会は、休みですが、ウイークリー臨時8号をだします。



皆さんこんにちは、Weeklyの臨時増刊号も第7号となりました。なかなか思うように例会が出来ない1年ですが皆さん如何お過ごしでしょうか。前回の幹事報告でお知らせ致しましたが、5月31日までは緊急事態宣言となっておりますので5/28の例会は休会とさせ

て頂きます。6月の例会につきましては後日事務局よりお知らせ致しますので宜しくお願いします。東京RCが誕生して100年が経ちました。昨年10月に記念例会は行われましたが今回「日本のロータリー100周年を祝う会記念式典・祝賀会」が5月25日に開催されました。YouTubeで視聴できますのでご覧いただければと思います。

【今後のYouTube視聴アドレス】  
日本のロータリー100周年を祝う会  
(一部無音状態の箇所がございますことをご了承ください。)

<https://youtu.be/Bb-7UMQNjtU>



最初に、ロータリーの「危機管理委員会」の始まりについてお話しさせていただきます。2004年ロータリーの大阪世界大会で、ある国のパストガバナーがセクハラ事件を起こし逮捕され、巨額の賠償請求をされたとの話が出て、大問題になりました。これに対し

てRIは、虐待及びハラスメントから青少年交換学生を守るために、それ以降の青少年交換プログラムを実施する条件の一つとして「危機管理委員会の設置」を義務付け、当地区でも「危機管理委員会」が設置されました。この様に、セクハラ虐待から青少年交換学生を守るために作られたのが「ロータリー危機管理委員会」の始まりです。2016年、RIはロータリー章典に基づいた「青少年保護の手引き」の中で「ロータリアンは、肉体的、性的、あるいは精神的虐待から青少年を守るために最善を尽くす」と述べるとともに、危機管理の対象範囲を、「地区委員会やクラブが実施するすべての青少年奉仕事業」にまで広げています。その後もRIは危機の内容を「ハラスメント」だけに限らず、その他の「全ての危険な事態」にまで広げています。また当地区では、緊急事態に迅速に対応できるように、神野年度より危機管理基金1000万円を設けて緊急時に備えています。この一年を振り返りますと、収束の見通せない新型コロナウイルスの蔓延、20年7月の熊本県に大きな被害をもたらした熊本豪雨、また今年2月には福島での最大震度6強の地震発生、そして頻りに報道される子供への虐待、性犯罪など、私たちの活動にも大きな影響を与える危機的な出来事が次々に起きております。30年に一度、50年に一度と言われていたことも毎年起こるようになっており、「危機はめったに起きないもの、起こったときは運が悪かった」という従来の考え方はもう通用しなくなっています。私たちが奉仕事業を計画するとき、奉仕内容やスケジュールを検討したり、必要な道具や材料を用意したりするのと同じように、当たり前、事業の実施にはどういう「危険」が潜んでいるかを事前に検討し、対策を講ずること。今まで以上の、「危機」に対する準備が必要になっています。RIは昨年6月の理事会において、「安全ガイドライン」/「地区危機管理計画の策定」を今後の青少年交換プログラム実施の条件としました。今年度は、岡部ガバナーの従来の危機管理マニュアルを分かり易く整理したいというお考えと、RI理事会のこの方針を受け、「危機管理の指針」を作成しました。危機発生時の行動指針として、「事故」「感染症」「災害」「虐待およびハラスメント」「犯罪による被害および加害」の5つの項目で危機発生とその対応手順を検討し、決定しました。

この方針には、いざ危機が発生したときにどう行動すればよいか分かり易くまとめられています。今年度中に、地区内クラブにお届けいたしますので、いざというときの指針にさせていただきたいと思えます。指針は作りましても、実際に使えなければ意味がありません。次年度はこの指針に基づいた各クラブ青少年奉仕担当者様の危機発生時の訓練を実施したいと考えております。

9月21日には、この「危機管理の指針」をより良くご理解いただくための「危機管理セミナー」を予定しております。

よろしくお願い申し上げます。

月	日	今後の例会予定
5	28	休会
6	4	休会
	11	休会
	18	休会
	25	休会

### 豆知識 7 「ロータリーの標語」

職業奉仕委員会 (委員 小島清路 記)

「社会奉仕に関する 1923 年の声明」(ロータリー章典 8.040.1.参照) には下記の如く記載されています。

『ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕 - 「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。』

ここに、ロータリーの公式標語として正式に承認された、下記の 2 つの第 1, 2 標語が記載されています。

#### 1. 「超我の奉仕」(「Service above self.」)

これはロータリーの基本的な奉仕哲学を示すものです。これは利益を求めて奉仕するのではなく、他社のために尽くすことが自らの喜びであるという「利他主義」の思想を表わしています。「Service not self.」から修正されて現在に至っています。

#### 2. 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」(「One profits most who serves best.」)

これは、「最善のサービスをすれば、結果として最大の利益が得られる。」とも言われています。これは「実践的な倫理原則」を示すものであり、ロータリーでいう職業奉仕の理念を端的に表しています。「実践的な倫理原則」を示すものという点において、これは「4 つのテスト」と同様に重要な倫理的指標となるものです。2004 年に「He」から「They」に修正され、更に 2010 年に「One」に修正されて現在に至っています。

次回は、「ロータリーの五大奉仕」について説明します。